

2021 にいがた ワーク&ライフフォーラム



2021年9月18日(土) 開会10:15～ 受付開始 9:45～

連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて

人間らしく生き、働き、暮らすことのできる社会にむけて、労働者福祉運動は「労働を中心とした福祉型社会」の実現をめざしています。このフォーラム開催は、労働者福祉運動に携わる諸団体をはじめ、地域課題に取り組むNPOや市民活動団体、自治体との連携を図り、相互に補完しあい、より大きな相乗効果を発揮できる可能性を追求していきます。多くの方々にご参加くださいますようお願いいたします。

午前の部 / 10:15～12:00

記念講演

コロナ禍と居場所 こども食堂の取り組みから



湯浅 誠氏

Makoto YUASA

会場

メッセピア 多目的大ホール
(燕三条地場産業振興センター)

PROFILE

社会活動家。
東京大学先端科学技術研究センター特任教授。
全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長。

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。東京大学大学院法政学研究所政治学専攻科博士課程単位取得退学。1990年代よりホームレス支援に従事し、2009年から足掛け3年間に閣内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。2014～2019年まで法政大学教授。

著書に、『子どもが増えた！人口増・税収増の自治体経営』（泉房穂氏との共著、光文社新書、2019年）、『「なんとかする」子どもの貧困』（角川新書、2017年）、『ヒーローを待っていても世界は変わらない』（朝日新聞出版、2012年）、『反貧困』（岩波新書、2008年、第8回大佛次郎論壇賞、第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞）、『貧困についてとことん考えてみた』（茂木健一郎と共著、NHK出版、2010年）など多数。

ヤフーニュース個人に連載中の「1ミリでも進める子どもの貧困対策」で「オーサーアワード2016」受賞、法政大学の教育実践で「学生が選ぶベストティーチャー」を2年連続で受賞。「こども食堂安心・安全プロジェクト」でCampfire Award 2018受賞。他に日本弁護士連合会市民会議委員など。

午後の部 / 13:30～16:40

会場 メッセピア・リサーチコアまたは開催団体现地等

セッション / 県内・市内で活躍する8団体 ※裏面の「セッション一覧」からお選びください。

- 主催 / 2021にいがたワーク&ライフフォーラムin県央実行委員会
 - 共催 / 新潟県労働者福祉協議会、県央地区労働者福祉協議会、新潟県労働金庫、こくみん共済coop新潟推進本部、(公財)新潟ろうきん福祉財団
- ※この事業は、公益財団法人 新潟ろうきん福祉財団の公益支出事業を主たる財源として開催します。

要申込

(定員290名) ◎申込期限 **8月5日(木)**

お申込みは、別途申込書にてお願いします。

参加無料

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。周辺駐車場ご利用時の駐車料金につきましては各自ご負担となりますので予めご了承ください。
※先着順、定員になり次第、締切りとさせていただきます。

メッセピア会場で
**フードドライブ
開催します**

ご寄付いただきたい食品

- ①未開封品
 - ②常温保管が可能
 - ③賞味期限が2ヶ月以上残っている
- ※アルコール類、なま物類、衣類等をご遠慮ください。

フードバンクにいがた



※例年開催しておりました交流会についてはコロナウイルス感染拡大防止のため、開催を自粛いたします。皆さまのご理解をお願いいたします。

お問い合わせ

(公財)新潟ろうきん福祉財団 tel.025-288-5273 県央地区労働者福祉協議会 tel.0256-32-6363

●別紙の「参加申込書」に、セッション参加の第1希望、第2希望をご記入の上お申し込みください。 ※「前半・後半コース」が「半日コース」いずれかへのご参加となります。

前半・後半コース (計2セッション選択) ※前半グループ(1・2)、後半グループ(3・4)から1つずつお選びください。

セッション会場

13:30~15:00

前半グループ

15:10~16:40

後半グループ

メッセピア
4F
大会議室

1 職場で困っていることはありませんか？
みんなで解決策を考えてみよう

- ①参加者をグループ分け
- ②職場で困っていることを付箋に記入し、模造紙に貼る
- ③挙げられたものの中で、参加者が解決策を考えられそうなものにシールを貼る
- ④各参加者シールが一番多いものの解決策を1~3点考える
- ⑤その困っていることを挙げた参加者が出された解決策を見ながら、自分の職場で出来そうなことなどをコメント

主催/日本労働組合総連合会新潟県連合会(連合新潟)

3 コロナ禍における学生の実態と
奨学金・学費の課題

コロナ禍の猛威は「親からの援助減少」「アルバイト収入の激減」をもたらし学生の生活を益々圧迫、学費支払い困難の結果、自主退学といった悲しい状況も多数生んでいます。本講では本問題の第一人者、大内裕和中京大学教授を一昨年に引き続き招き・学費の延納、減免・奨学金の返済猶予など緊急措置の実態を検証し、学生や奨学金返済に苦しむ若年層の支援について考えます。

主催/新潟県奨学金問題ネットワーク設立準備会

メッセピア
5F
総合研修室①

2 発達凸凹(でこぼこ)ってなに？
～障がいのある子をもつ親のはなし～

〈NPO法人ギフト代表者からの講演〉
当事者やその家族、支援者など、様々な立場を取り巻く現状を認識し、障がい者福祉や支援のあり方について改めて考える、できることを行動につなげるための機会を提供する、等の内容で講演。
〈参加者とのグループワーク〉
講演だけでなく、参加者も主体的に参加できるような内容で、グループワークを実施する。

主催/新潟県労働金庫

4 SDGsでつながろう
～SDGsの基礎知識と福祉的視点～

2030年に向けて、連帯・協同のキーワードとなる「SDGs(持続可能な開発目標)」。そもそもSDGsって何?という出発点から、実践的に取り組んでいくための基礎となる知識について、SDGsの根底にある人権や福祉的視点を織り交ぜながらお伝えします(講義+ワーク)。

主催/認定NPO法人 新潟NPO協会

半日コース (1セッション選択) ※A~Eコースの中から1つお選びください。

セッション会場

13:30~16:30(休憩含む)

前半後半通し

メッセピア
5F
総合研修室②

A 「協同労働」ってなに? ~働くことの意味を考える~ 映画「Workers 被災地に立つ」上映と意見交換

前半は、ワーカーズコープ(労働者協同組合)が、2011年から東北被災地で取り組んだ様々な活動を記録した映画(約90分)を上映。後半は、昨年12月、「労働者協同組合法」が成立して、「協同労働」という働き方が、法的に認められました。これで何が変わるのか、何ができるのか、具体的事例をみながら、協同労働について理解を深めたいと思います。

主催/にいがた協同ネット

リサーチコア
7F
マルチメディアホール

B 食支援でつながる他職種協働によるライフサポート ~いのちとこころを支えるゲートキーパー~

- 【前半】①ドキュメンタリー『相対的貧困 ~扉の中のSOS~』放映
- ②講演:テーマ『子どもの貧困とフードバンク』 フードバンクしばた副代表 土田雅穂
- ③トークセッション:テーマ『子どもの未来応援プロジェクト』
- 【後半】①講演:テーマ『味方になりきるコミュニケーション』 新潟県ゲートキーパー協会理事長 長谷川淳子
- ②トークセッション:テーマ『子ども・若者の自殺予防』

主催/NPOさんじょう

現地訪問
セッション

ものづくりの街を
見てみよう!!

県央(燕、三条)のものづくりの歴史や技術の一端にふれることを目的に実際に街に出てみよう!!
(街歩き見学コース&一部体験あり)

C 燕コース

定員 15名
燕市産業資料館(体験あり)
磨き屋一番館
玉川堂(鋤器)等(予定)

集合場所

地場産センター駐車場(予定)

主催/県央地区労福協

D 三条コース

定員 15名
レジェ(チタンアクセサリー加工)
諏訪田製作所(爪切り他)等(予定)

集合場所

地場産センター駐車場(予定)

主催/県央地区労福協

E NPO団体訪問ツアー & ワークショップ

定員 20名
北三条駅前にある「まちなか交流広場ステージえんがわ」にて、NPO法人えんがわより地域コミュニティの取り組み事例をお話いただき、布バックに三条市のマンホール模様や名物などの印刷ワークショップを行います。また、近隣のNPO法人にいがた災害ボランティアネットワークの活動教材備蓄場所の見学や、活動内容のお話とワークショップを行います。

集合場所

地場産センター駐車場(予定)

主催/NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク+NPO法人えんがわ